

●漁況情報

- 4月24日、鎌倉漁協所属の漁業者が設置しているアオリイカ落とし網（浅場の小型定置網）にアカカマス約900kgが入網しました。水深5m前後の浅場の定置網にアカカマスが多く入ることは珍しく、嬉しい大漁となりました。



アカカマス水揚げの様子

●浜の話題

- 4月16日、鎌倉市の鎌倉地区と逗子市の小坪地区でアカモク増殖試験が実施されました。鎌倉では、同漁協漁業研究会所属の若手メンバー10名が協力し、胞子を持つアカモク雌株を親縄に固定して漁場に設置しました。小坪では、同漁協所属の大竹組合長（大竹丸）、座間指導漁業士（ヴェルデ丸）等6名の漁業者が、タコかごに胞子を持つアカモク雌株を入れ、アカモクを増殖させたい岩場の海域に設置しました。



鎌倉地先におけるアカモク増殖試験の様子

- 4月16日と19日、長井町漁協所属漁業者は来期のワカメ養殖に向け、ワカメの種付け作業を実施しました。従来の県内産種苗に加え、県水産技術センターが長崎県南島原市から試験的に導入した暖海性ワカメによる種付けも行いました。担当普及指導員が顕微鏡で確認したところ、メカブからの遊走子（ワカメの種のようなもの）の放出状況も良好でした。



ワカメの種付け作業の様子

- 4月18日、日本テレビの情報番組『ヒルナンデス!』で、各地のご当地スーパーがオリジナル商品を紹介する「出張!ご当地スーパー選手権」が放映されました。番組では、小坪漁協所属の漁業者や地元量販店等で構成される合同会社「こつぽ」が製品化した「めかぶうどん」が高い評価を受け、これを紹介した逗子市のスーパーが優勝しました。
- 4月19日、テレビ東京のドキュメンタリー番組『家族記念日』で、長井町漁協所属の宮川さん（房竹丸）一家が紹介されました。宮川さんは5年前から地魚の加工直売所を経営しており、番組では開店5周年記念日を家族で祝う様子が放映されました。
- 4月20日、横須賀市の長井漁港内にある水揚施設2階に、長井町漁協直営の「長井市場食堂」がオープンしました。朝どれの新鮮な地魚が定食や丼物で提供され、ゴールデンウィーク中も連日満員だったそうです。食堂内にはテラス席もあり、天気の良い日は富士山をバックに江の島や相模湾が一望できます。今の時期はアオリイカ、マアジ、マダイを使ったメニューがお勧めとのこと。

タウンニュース横須賀版・長井市場食堂の紹介記事

<https://www.townnews.co.jp/0501/2019/04/19/478567.html>



新たにオープンした「長井市場食堂」の様子

- 4月22日、三重県伊勢農林水産事務所の水産普及指導員1名が三和漁協城ヶ島支所を訪れ、キャベツウニの蓄養施設を視察しました。当日は同支所所属の石橋指導漁業士（英樹丸）が対応し、蓄養水槽でのウニの管理方法やキャベツの給餌方法などについて説明しました。三重県でも今後、ウニの蓄養試験に取り組んでいくそうで、磯焼け対策としてのウニ活用の波及が期待されます。



蓄養施設の説明をする石橋指導漁業士

- 4月23日、小坪漁協所属の大竹組合長（大竹丸）と座間指導漁業士（ヴェルデ丸）他のアオリイカを漁獲している漁業者計5名が、地先の適地にアオリイカ産卵礁を設置しました。産卵礁は葉持ちの良いカシやモチノキをたばねたもので、昨年の設置ではたくさんのアオリイカの産卵が確認されたそうです。
- 4月29日、長井町漁協アオリイカ部会（会員82名）は、地先の産卵適地に葉振りの良い木をたばねたアオリイカ産卵礁を設置しました。アオリイカは多くの組合員が漁獲する重要魚種ですが、近年の磯焼けの進行により産卵に適した海藻類が減少しているため、産卵礁には毎年たくさんのアオリイカが産卵しています。



産卵礁に産み付けられたアオリイカの卵塊（過去の写真）

- 4月中旬より、三和漁協上宮田支所は北下浦漁港（上宮田地区）内でこいのぼり約200尾を掲げました。5月5日の子供の日になみ、航海安全と大量祈願のために4年前から行っているもので、周辺の海岸や道路からは地域住民から寄付されたこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいる様子が楽しめました。



潮風をうけ漁港内を泳ぐこいのぼり